



第 1611 回例会

平成 22 年 4 月 12 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 参議院議員 鶴保 康介様

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. ゲスト紹介 参議院議員 鶴保 康介様

4. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 43 名

出席率 62.32% 前回修正出席率 72.46%

5. 会長スピーチ

みなさんこんばんは！

本日は、ゲスト卓話として、参議院議員の鶴保 康介様をお迎えしております。お忙しいところ誠に有り難うございます。よろしくお願ひします。

昨日は、「たんぽぽの会との交流会」に大勢ご参加いただき有り難うございます。天気予報では 40% の雨と心配したのですが、開会の 10 時には青空になりました。一日楽しく、明るく、健康で、みんな仲良く、ケガもなく過ごさせていただきました。社会奉仕委員会の皆さん、有り難うございました。また、身障者カヌー協会の手配等、花田さんにはお世話になりました。

6. 幹事報告

幹事 寺下 卓 君

○例会臨時変更のお知らせ

橋本紀ノ川 R C 4 月 20 (火) → 4 月 18 日
(日) 田辺市紀南文化会館 (地区大会)

7. ゲスト卓話

参議院議員 鶴保 康介様

本日は、お招きいただき、有り難うございます。今日のお話は、最近の混迷を続ける政局などについて、解りやすくお話をしたいと思います。

私は 14 年前に皆様の力添えで、参議院議員に当選させていただきました。私が国会議員を志したのは、大学生の時です。東京大学法学部に入り、勉強してい

ましたが、そのときの大學生教授が私に「この国は、数年後には滅んでしまうかも知れない」といつたことが切欠で、何とかしなければと純粹に考えました。

そして、政治の道に飛び込んだのですが、最初、私は今の大學生の小沢幹事長の秘書として政治の勉強をしました。今、考えてみると少しの違いで、捕まっていたかもしれません。幸いなことに 14 年前に和歌山選挙区から立候補し、現在に至っています。

そこで、今日の情勢ですが、民主党の政権になり、社会は混乱しています。自民党も頼りない状況ですが、今の世の中は、何かおかしい。和歌山でも最近、貧困ビジネスなる福祉政策の盲点をつき、和歌浦の閉めた旅館を買い取った大阪の業者が、生活保護の手助けをし、仕事にあふれた若者にそこへ住まわし、家賃を吸い上げています。また、偽装結婚、偽装離婚などによって、母子手当を受給するなど政府のばら撒き行政と福祉へのチェックの甘さを利用しています。あるアンケート調査で、今の若者に生活保護をもらう事に抵抗を感じるか? と問い合わせたところ、60% が感じないと回答したそうです。非常に悲しいことです。

今年の 7 月頃には選挙になりますが、民主党も自民党もどちらもダメとなるのではないかでしょうか。社会福祉の見直し、財政危機問題、子供手当の行方などが取りざたされていますが、私は何よりも今は、国民がやる気になるような政策、活力が出るような助成が必要であると考えます。農業者個別所得保障制度なども現在、後継者がいない農家はやる気のある人に休耕田等を貸し、そのことによって、農業を続けていく方向に向いているのにこの制度は、貸すのをやめて、少しの農業を続け、助成金をもらう方向に導いています。竹島問題も重要です。韓国の軍隊が支援し、日本の漁船の操業を妨害したり、嫌がらせをしています。しかし、日本の外交は弱く、このままでは、大切な資源までがとられてしまいます。

また、財政問題ですが、日本の金融資産は 1,400 兆



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畠 重靖 幹事：寺下 卓 SAA：名手 広之

円といわれていますが、政府の累世赤字は現在 300兆円です。毎年 40 兆円の赤字国債を発行し続ければ、15 年持たない状況です。ギリシャの状況と同じようになります。自民党からの新党や民主党では歯止めがきかない状況で、経済政策だけではどうにもなりません。金融についても政府は全国一律の担保主義を適応し、和歌山では貸し渋りが起きています。

私は、こうした情勢を踏まえて、なんとか国民が一丸となって頑張っていける社会の実現に寄与したいと思います。皆様のご理解とご支援をお願いします。

8. 閉会点鐘

次回例会 第 1611 回例会：22 年 4 月 19 日(月)
海南商工会議所 4F 12:30~
ゲスト卓話 海南税務署長 尾上 好生 様



ニコニコ・BOX

○一般ニコニコ

- 中村 雅行君 鶴保先生、公私共にお忙しい中、有難うございます
中村 文雄君 鶴保先生、お忙しい中、有難うございます
吉田 昌生君 集英社の神仏靈場古社名刹の旅（週間）で藤白神社が出ました。一般書店で販売しています。ご覧下さい。
三木 正博君 6年間、自治会長を務め、昨日、交代しました。これで、自分の時間が出来て嬉しいです。
木地 義和君 長い間、休みました。
山名 正一君 たんぽぽの会、ご協力ありがとうございました。
上南 雅延君 たんぽぽの会でお世話になりました。
田村 健治君 昨日、たんぽぽの会も欠席して、失礼しました。
寺下 卓君 たんぽぽの会、欠席してすみません。

また、近くに井戸や川があつても、ヒ素などの体に有害な物質が含まれていて、飲むと病気になってしまうこともあるのです。そういう所に住む人たちは、有害だとわかついていても、それしか水がないので、その水を飲まなければならないのです。

「国連水の日」に当たる 3 月 22 日、世界中のロータリアンが、水と衛生の問題について行動を起こす必要性を呼びかけています。世界中で安全な飲み水が不足し、適切な衛生管理が行き届かないために、毎年 200 万人もの人々が命を落としています。「国連水の日」は、世界各地で需要が増している清浄水の問題に焦点を当てるため「健康な世界のためのきれいな水」という今年のテーマでは、水質の重要性に目を向けています。今年の「国連水の日」には、国際ロータリーが米国国際開発庁と協力関係を結び、ドミニカ共和国、ガーナ、フィリピンにおける水と衛生の長期的プロジェクトを立ち上げました。

国際ロータリーでは、すべての人々が安全な水を手に入れられるよう、「水」を特に重点を置く活動の一つとして、世界中のロータリアンたちが、さまざまな活動を展開しています。井戸のない、へき地の村に井戸を掘るための資金を提供したり、学校に簡易水道を引いたり、また、雨水を溜める装置を贈ったりしています。現地に行って、村の人たちと一緒に井戸掘りの作業をするロータリアンもいます。井戸を掘っても、ヒ素などの有害物質が混ざった水しか出てこない所では、そういう物質を取り除くフィルターなどをつけた井戸を提供しています。蛇口をひねって水を飲むとき、思い出してください。世界中には、安心して、簡単に、水を飲むことができない人がたくさんいることを。そして、そういう人たちのために、ロータリアンたちがさまざまな活動を行っています。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

世界で広がるロータリアンの水プロジェクト



日本では、水道の蛇口をひねると当たり前のようにきれいな水が出てきます。私たちは、安心して飲むことができる水を、トイレを流すのにも、お風呂にも使っています。しかし、世界の中には、水を手に入れるために、遠くまで歩いていかなければならぬ人たちもたくさんいるのです。

たんぽぽの会との交流会

2010年4月11日
片男波海水浴場



天候に恵まれ、元気に楽しく、思いつきり、皆と遊びました。